



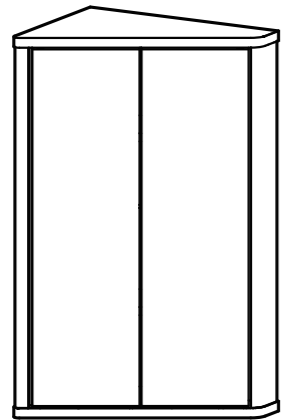
Model Name.

エルフォルム
トライアングルストレージ

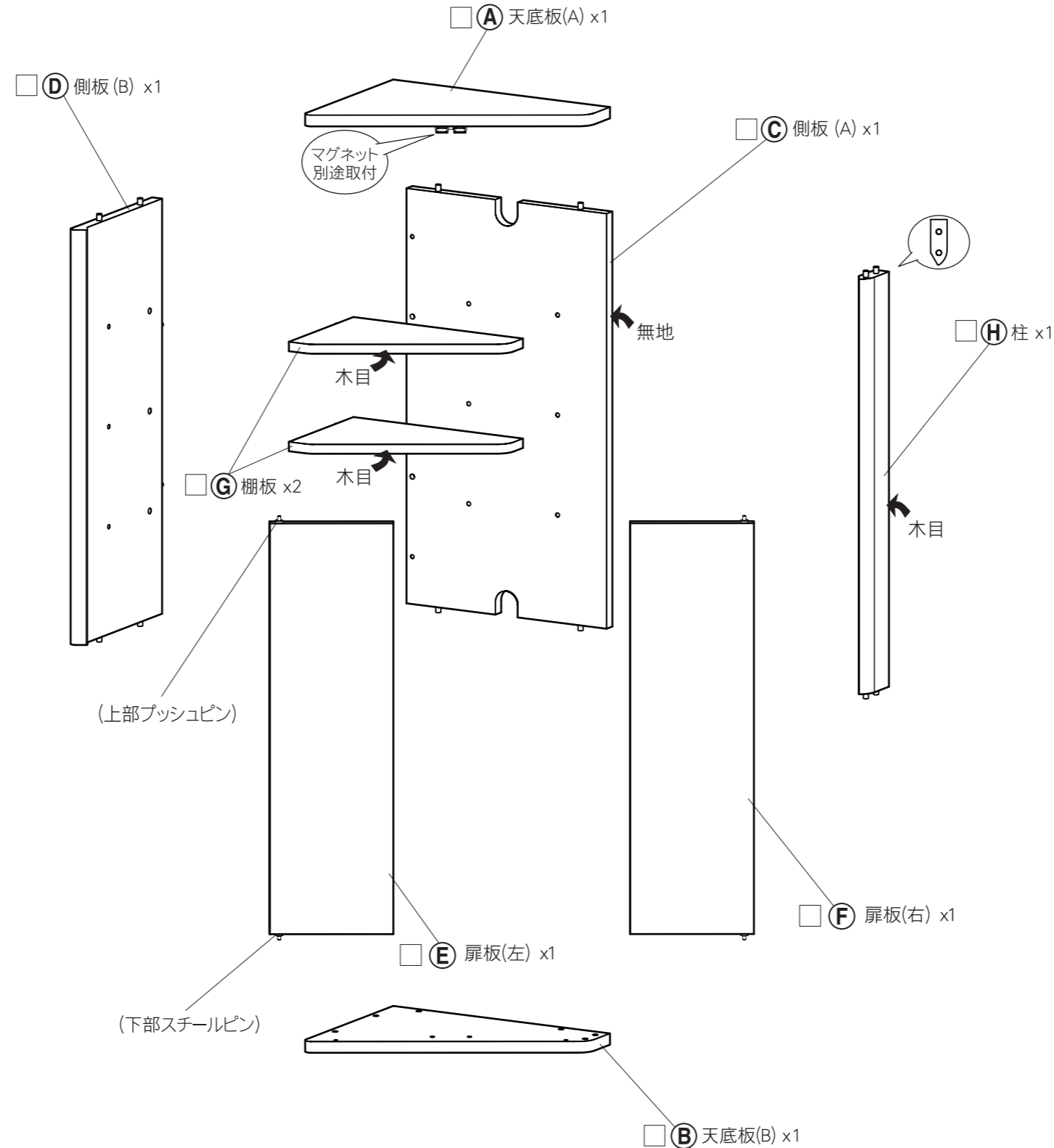
Model No.

LFM-7040TR-NA/WH

完成図



●まずは部品をチェック しましょう。



部品

<input type="checkbox"/> ①	ラッパネジ		2
<input type="checkbox"/> ②	棚板用ネジ		6
<input type="checkbox"/> ③	接着剤		1
<input type="checkbox"/> ④	マグネットラッチ		1
<input type="checkbox"/> ⑤	マグネットラッチ用 取り付けネジ		2
<input type="checkbox"/> ⑥	ASAHI WOOD エンブレム		1
<input type="checkbox"/> ⑦	ネジ隠し シール(木目)		2
<input type="checkbox"/> ⑧	転倒防止バンド		1
<input type="checkbox"/> ⑨	転倒防止 バンド用ネジ		2

組み立てる時の注意点

- 本体を組み立てる時、ハンマーで直接たたかないで、当て木又は厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」についても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。
- 接着剤塗布を指定してある箇所には、確実に必ず接着剤を塗布してください。尚、固まるまでの2時間程度は、家具を動かさないでください。

組み立ての必需品

プラスドライバー

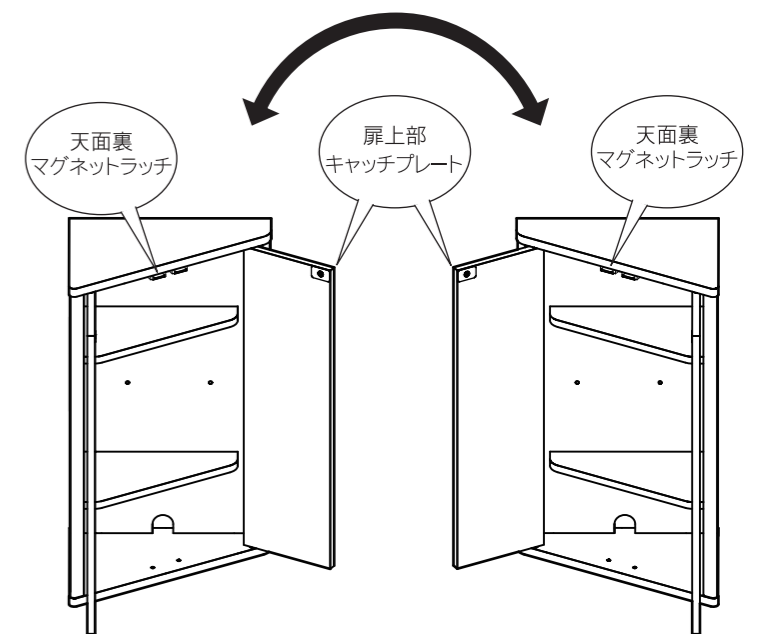


※ no.2 のドライバーを準備してください。



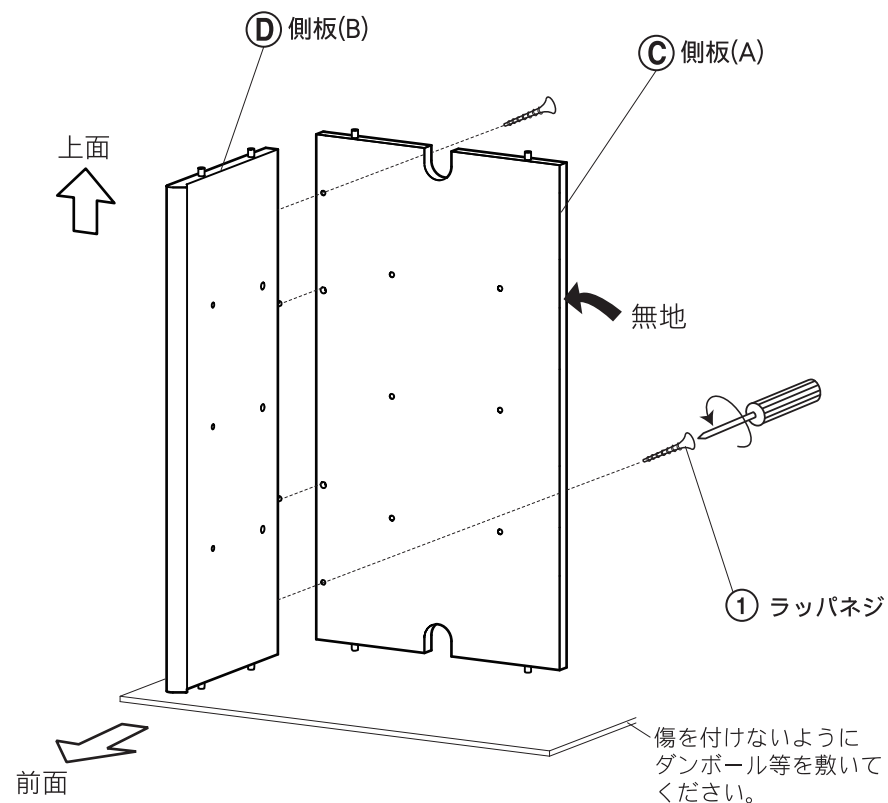
ハンマー

全体図



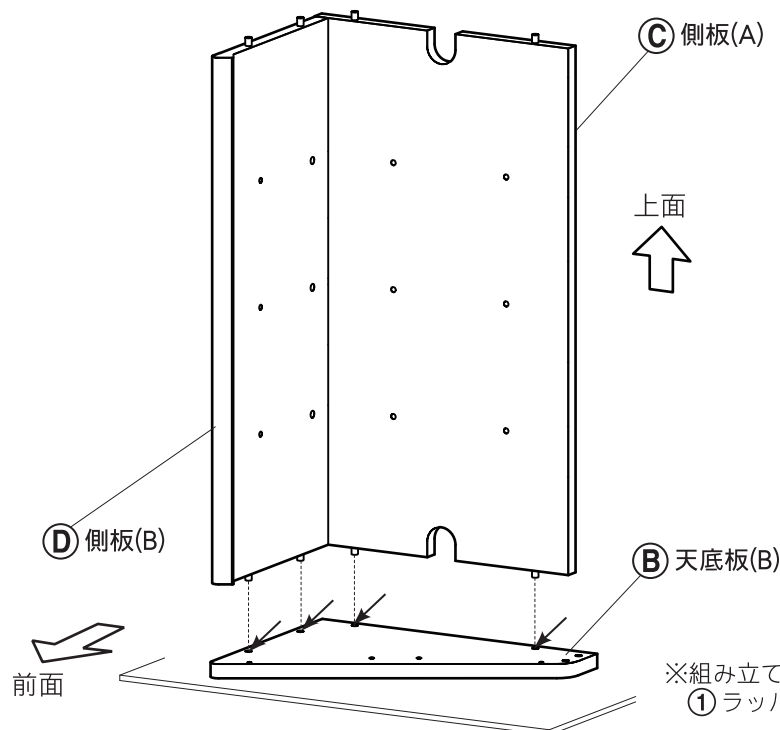
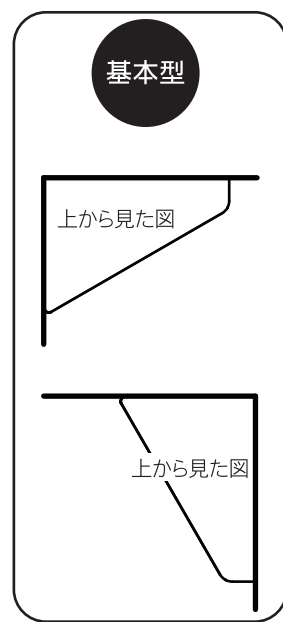
本製品は、組み方によって2通りの方向を選べます。
(※組み立て後は上下反転してご使用いただけませんので、ご注意ください。)

1 ③ 側板(A)と④ 側板(B)の組み立て



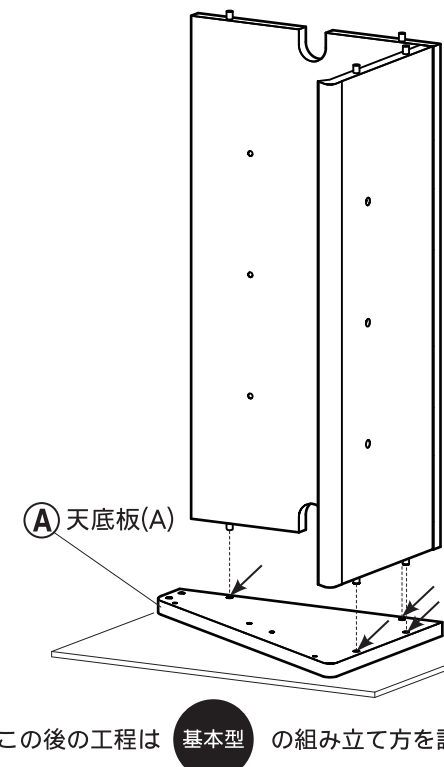
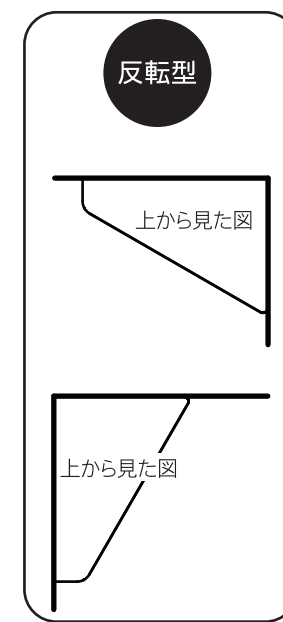
2 ⑤ 天底板(B)または⑥ 天底板(A)と③ 側板(A)④ 側板(B)の組み立て

本製品は2通りの設置ができます。
下図を参考にお好きな方向で組み立ててください。



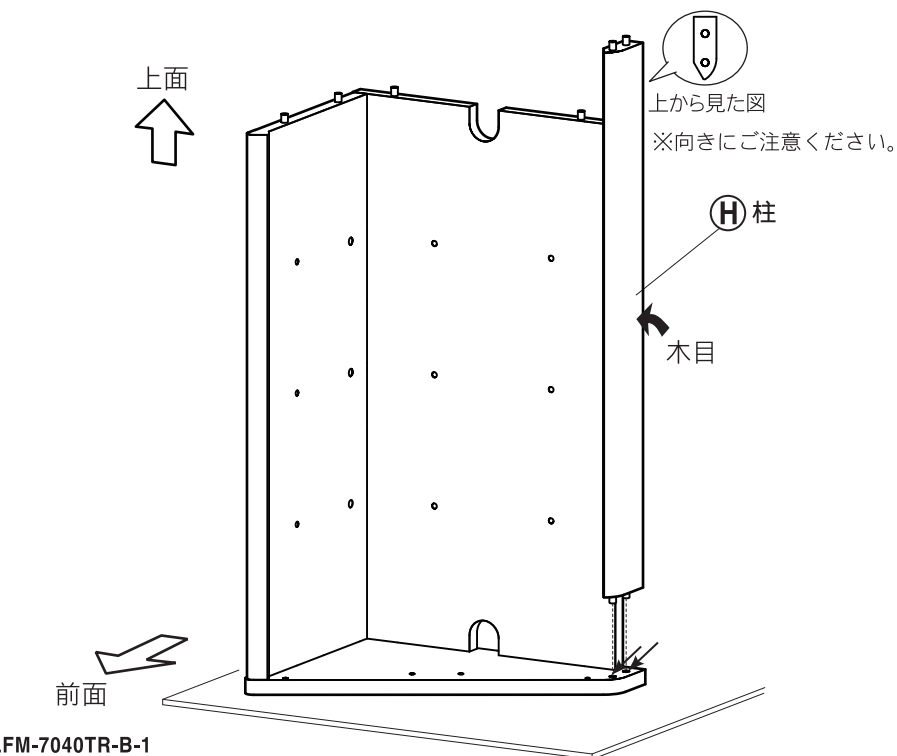
ハンマーなどで隙間の無い様にしっかりと叩き込んでください。その時、直接叩かず古雑誌等をあててください。

の箇所に
③ 接着剤を塗布



3 ⑦ 柱の組み立て

の箇所に
③ 接着剤を塗布



4 ⑧ 天底板(A)にマグネットラッチの取り付け

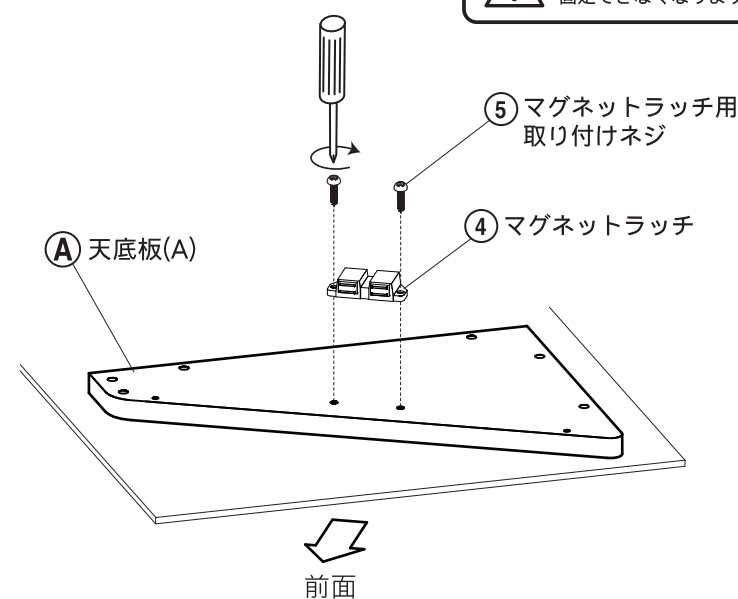
※反転型の場合は、⑥ 天底板(B)に取り付けてください



電気ドライバーの使用禁止

この工程での電気ドライバーのご使用はおやめください。部品が破損して組み立てが出来なくなる場合がございますので、手回しドライバーで組み立ててください。

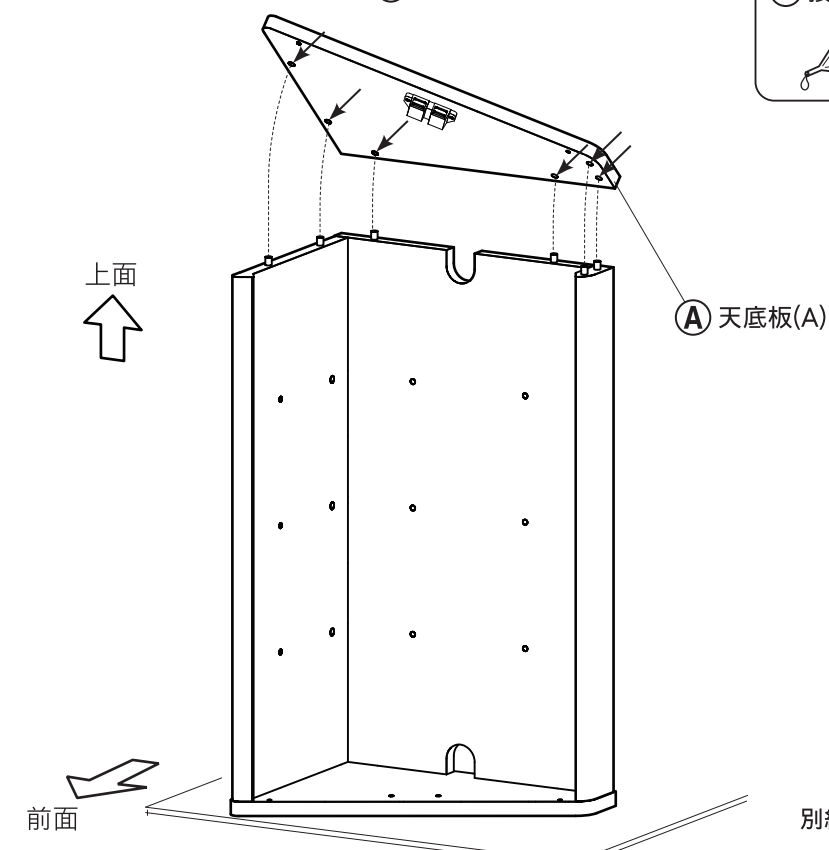
⚠ 過度に強い力で締め付けるとネジが空回りし固定できなくなりますので、ご注意ください。



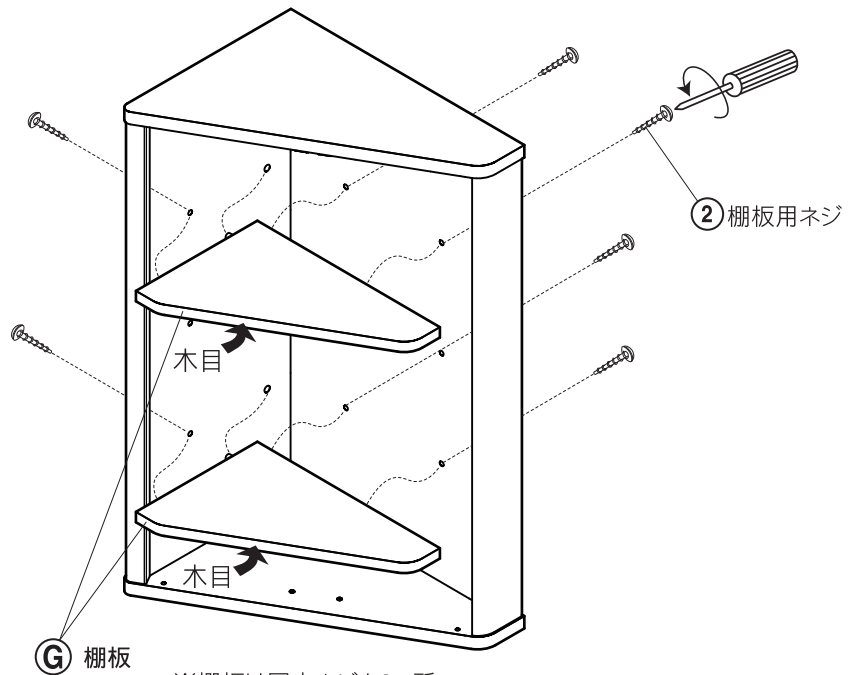
5 ⑧ 天底板(A)の組み立て

※反転型の場合は、⑥ 天底板(B)を組み立ててください

の箇所に
③ 接着剤を塗布



6 G 棚板のセット

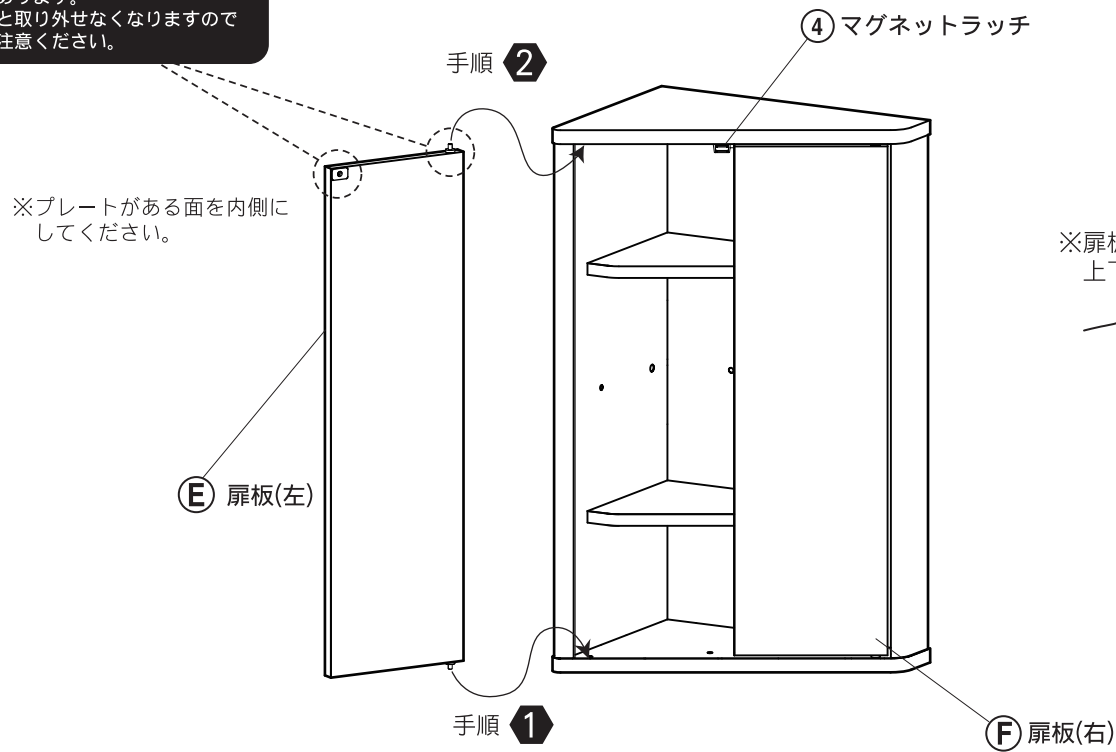


※棚板は固定ネジを3ヶ所
緩めてお好きな位置に変換できます。
【3段階可変】
※棚板を使用せず、本体のみでもご使用いただけます。

7 E 扉板(左) F 扉板(右)の組み立て

プレートのある方
プッシュ式ピンの方
が上になります。
扉板には上下があります。
一度取り付けると取り外せなくなりますので
上下の向きにご注意ください。

ご注意 扉を組み立てる前に、天面裏にマグネットラッチが取り付けられているか確認してください。
反転させたい場合は、マグネットラッチを付け替えてください。



※扉板上の回転ピンはプッシュ式です。
上下に注意して指で押さえながら取り付けてください。

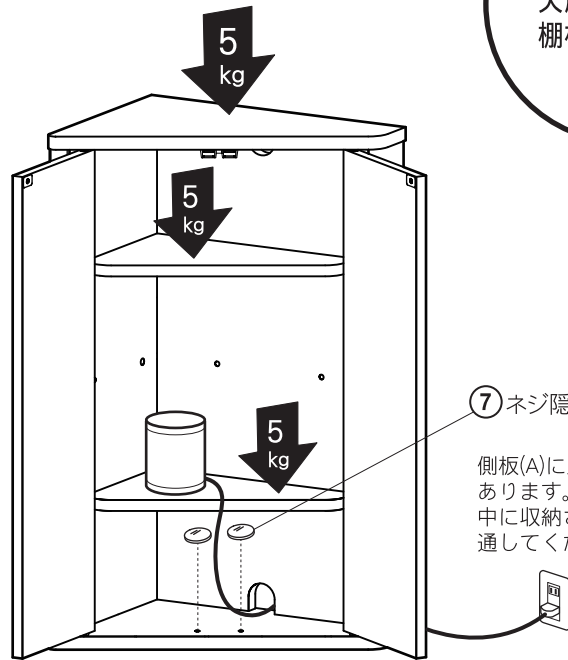
- 手順 1 扉板下の回転ピンを
本体の下側の穴に差し込みます。
- 手順 2 扉板上の回転ピンを指で
押さえながら本体の上側の穴に
差し込みます。

8 できあがり!

※移動の際は天板を持たないでください。
扉板が外れてケガをする恐れがあります。

耐荷重の目安

天底板 5kg
棚板 5kg



ASAHI WOOD

6 ASAHI WOODエンブレム
お好きな位置に貼ってください

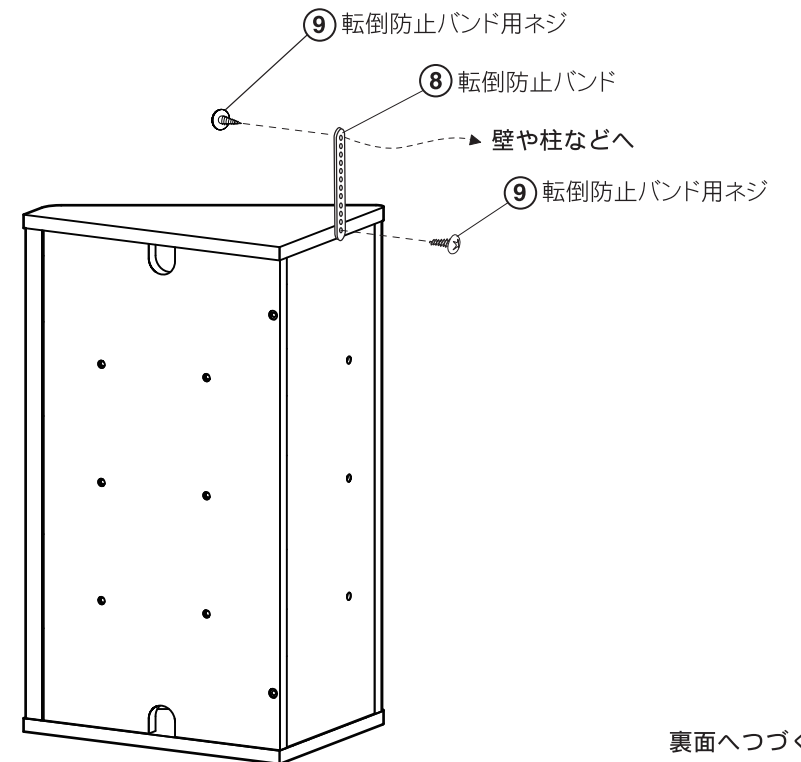
7 ネジ隠しシール(木目)
側板(A)に上下1ヶ所ずつ配線用の穴が
あります。
中に収納される場合、コードを穴に
通してください。



ご注意 扉板を開いた状態でもたれかからないでください。
本体が倒れたり、扉板が外れるなど、
破損やケガの原因となります。
水に濡れた状態で製品を使用しないでください。
カビが発生したり変形の原因となります。
そのため、定期的に換気をし、背面の湿気を取
り除いてください。

転倒防止(前面方向)についてお願い

お子様が登ったり、揺すったり、押しついたりされると商品が前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記に
もとづき実施して頂きますようお願い致します。



裏面へつづく...

※接着剤が固まるまで(2時間位)動かさないでください。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっばいに引出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター（移動用小車）付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。



一般社団法人 日本家具産業振興会